

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-080345

(43)Date of publication of application : 31.03.1998

(51)Int.CI.

A47F 7/00

(21)Application number : 08-255325

(71)Applicant : LION CORP

(22)Date of filing : 06.09.1996

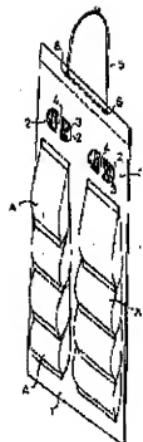
(72)Inventor : UMEZAWA NAOYUKI
SATO MASAYUKI

(54) GROUND PAPER FOR DISPLAYING ARTICLE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To safely display an envelope-shaped or center joined seal-shaped packed article using a paste calendered ground paper at the shop.

SOLUTION: In a ground paper 1, in which a large number of envelope-shaped or center joined seal-shaped article pack bags A, each of which stores products therein, are arranged in longitudinal and or lateral directions in an overlapping or spaced apart relationship, and a large number of pasting holes 2 are formed in the ground paper 1 in the longitudinal and/or lateral directions thereof so as to be spaced one from the other and the holes 2 consist of pairs of holes 2 and in each pair of holes, the holes 2 are oppositely oriented one to the other on both sides of a connection piece 4, and the adhesive layer surface of an adhesive tape 3 is disposed at each of the holes 2 separated by the piece 4, whereby article pack bags each comprising a center joined seal-shaped pack bag are provided. And when packed articles are displayed using a calendered ground paper, the packed articles can be safely separated without damage to the sealed portions thereof even if strong adhesion is applied to the packed articles, so that the packed articles can be easily handled.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of

(10) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-80345

(43) 公開日 平成10年(1998)3月31日

(51) Int.Cl.⁶
A 47 F 7/00

類別記号 序内登録番号

P 1
A 47 F 7/00技術表示箇所
E

寄託請求 未請求 請求項の数 2 FD (全 4 頁)

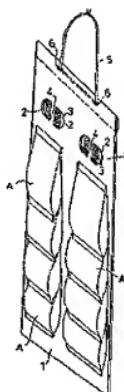
(21) 出願番号	特開平3-255325	(71) 出願人	000006760 ライオン株式会社 東京都墨田区本所1丁目3番7号
(22) 出願日	平成3年(1991)9月6日	(72) 発明者	梅沢 伸之 東京都墨田区本所一丁目3番7号ライオン 株式会社内
		(73) 発明者	佐藤 正幸 東京都墨田区本所一丁目3番7号ライオン 株式会社内
		(74) 代理人	弁理士 高野 和 (外1名)

(54) 【発明の名前】 物品陳列用台紙

(57) 【要約】

【課題】 封筒形或いは中央合掌シール形包装物品を貼付カレンダー台紙での店頭陳列展示を安全に行う。

【解決手段】 封筒シール形或いは中央合掌シール形のパック袋に製品を入れた物品パック袋Aを縦方向または／及び横方向に多枚重ねりそらせて或いは離して配列掲示する台紙1であって、該台紙1に縦方向または／及び横方向に間隔をあけて多段階成した貼付穴2が中央部に張り片4を介在して対向する二列の穴で構成され、この中央部の張り片4で分離された両貼付穴2に貼着テープ3の接着面3aを配備したことで中央合掌シール形の包装袋を用いた物品パック袋、その包装物品を貼付カレンダー台紙で陳列展示販売の際に、強力粘着によつてもシール部分またはその周辺が破れることなく安全に取り外しができ包装物品の胸首もなく取扱い簡便である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 物品パック袋を縦方向または／及び横方向に多数重なりをずらせて或いは離して配列貼着する台紙であって、該台紙に縦方向または／及び横方向に間隔をあけて形成した貼付穴が中央部に繋ぎ片を介して対向する一対の穴により構成され、この中央部の繋ぎ片で分離された両貼付穴に貼着テープの粘着面をそれぞれ配備したことを特徴とする物品陳列用台紙。

【請求項2】 前記物品パック袋が、封筒シール統成いは中央合掌シール形袋である請求項1記載の物品陳列用台紙。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、食品・靴用品・化粧品・その他の商品を統成し包装商品或いはパック製品、特に封筒シール統成や中央合掌シール形袋を用いた商品パック袋を陳列展示する際の陳列用台紙に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の物品陳列用台紙では、様々な方式があるが、商品の包装袋が嵌められて取り外しやすい形態として粘着テープを用いて、この粘着テープに貼り付けている方式が、店頭陳列用として食品・靴用品全般に多用されているが、このタイプでは、台紙に多数形成した貼付穴に粘着層を露呈して粘着テープを台紙裏面に貼着配置したものと知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、この貼付タイプでは、殆どが軽量商品のパック袋が主で問題はないが、比較的重量のある商品では粘着力の問題で商品パック袋が落としてしまうので、脱落しないようにするためにには強粘着タイプを使用することが多い。この強粘着テープを用いた場合、包装袋が封筒シール形或いは中央合掌シール形を用いることが多い商品パック袋では、この裏面側にあるシール部分が強粘着テープに貼付かれているために店頭で商品パック袋を取り外す時に、合掌貼りシール部分またはその周辺が破れることが多発して取扱上問題があつた。殊に食品など状況商品または液や粉或いは粒状物を含む商品では二重袋にしており、多用されている封筒シール形或いは中央合掌シール形の包装袋を用いることができないなど物品陳列用台紙の使用上の制約がでて不便であった。本発明は、これら従来の欠点を排除しようとしたもので、封筒シール形或いは中央合掌シール形の包装袋を用いた商品パック袋、その他包装品を貼付カレンダーボードで陳列展示板充の間に、強力粘着によってもシール部分またはその周辺が破れることなく安全に取り外しができる包装商品の販売もなく取り扱い簡便で低コストの形態の物品陳列用台紙を提供することを目的としたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、封筒シール形或いは中央合掌シール形の物品パック袋を縦方向または／及び横方向に多数重なりをずらせて或いは離して配列貼着する台紙であって、該台紙に縦方向または／及び横方向に間隔をあけて形成した貼付穴が中央部に繋ぎ片を介して対向する一対の穴により構成され、この中央部の繋ぎ片で分離された両貼付穴に貼着テープの粘着面をそれぞれ配備したことを特徴とする物品陳列用台紙。

【0005】

【発明の実施の形態】本発明の実施形態では、物品陳列用台紙に縦方向および横方向に多数形成した貼付穴に粘着層を露呈して貼着テープを台紙裏面に貼着配備したもので、該貼付穴が中央部に繋ぎ片を介して対向する一対の穴で構成されているので、封筒シール形或いは中央合掌シール形の袋に商品を入れた商品パック袋を貼付穴に貼付けると、該商品パック袋の裏面にあわせ合掌貼りシール部分が粘着層のない繋ぎ片上に位置してて貼付けられることとなり商品パック袋を台紙から引き剥がして取る時にシール部分またはその周辺が破れることなく安全に商品パック袋を外すことができ、強力粘着テープを使用できて商品パック袋の脱落防止も確実に行うことができる。

【0006】

【実施例】本発明の実施例を図1乃至図4の例で説明すると、封筒シール形或いは中央合掌シール形のパック袋に試品を入れた商品パック袋を縦方向または／及び横方向に多数重なりをずらせて或いは離して配列貼着する台紙1であって、該台紙1に縦方向または／及び横方向に間隔をあけて多数形成した貼付穴2が中央部に繋ぎ片4を介して対向する一対の穴により構成され、この中央部の繋ぎ片4で分離された両貼付穴2に貼着テープ3の粘着層面3を、配備した物品陳列用台紙1としてある。

【0007】この場合、前記台紙1は厚紙或いはプラスチックボード等を用い、上端を折曲げり返して二重にして吊り下げ紐5の取付け用の横通穴6或いは吊目を開けるか、連続線を設けるかして商品パック袋Aの店頭での陳列展示をしやすくようとしてあり、台紙1の裏面に適宜広告、印刷模様などの表示（回示せず）を施して用いられる。さらに、前記貼付穴2としては、繩4片4を介して半円形穴を対向させであるが、縁内円形、角形、長い連續した長方形穴その他の形状の落通穴を巡んで設け、商品パック袋Aの貼り付けに支障がない形態、大きさにしてある。

【0008】なお、前記貼着テープ3は、強力粘着層を片面に樹脂で台紙1の裏面に多数ある対向した前記貼付穴2、2に跨がって接着し、各貼付穴2内に粘着層面3、3が露呈されていて商品パック袋Aの接着保持が確実にできるようにしてあり、かつ一対の貼付穴2、2を台紙50の横方向に商品パック袋の大きさに対応して間隔をあ

(3) 特開平10-80345

3

けて多数設けてあって、物品パック袋Aの位置に少しづつ設えて並なりをすらせて脚別、展示し、取り外しやすいうようにすることが考慮されている。また台紙1の大きさによって物品パック袋を横向にも一列或いは二列以上配列できるように貼付穴2を設ければよい。

【0009】また、貼着テープ3は、前記貼付穴2に対して金体に貼り付けてもよいが、図示例の如く両端に隙間をあけて貼り付け、粘着テープのテープ端が貼付穴2の反対方向に対して若干ゆみがあつて、穴内に押し込まれればい込んだ形態として図版1上にある物品パック袋Aとの接着性を良くするようにするのがよい。(回3) そして、多數ある貼付穴2に対して連続した貼着テープ3を台紙1が継長のものであれば横向方に、また横長のものでは横向方向に台紙片面に接着すればよく貼付穴2内の露呈面積も物品パック袋Aの面積に対応して適宜選べばよい。

【0010】図1の具体例では、物品パック袋Aの貼付穴2で貼着する台紙1上の隙所を2ヶ所以上にしたもので、中央台掌シール形袋の物品パック袋Aの裏面シール部にかかるない位置、例えば物品パック袋Aの四隅に付応する位置に貼付穴2を設けて貼着しやすくした貼付穴2、2箇が隙片4となつて取り付けを割がす際に、中央台掌シール形袋の裏面シール部が横向に破れないようになると共に、物品パック袋Aの脱落防止に役立つものである。この場合、前記物品パック袋Aは脱落されるものと離して記別してもよいが、上下の貼付穴2の両方を使わずに、図1例の如く上下分かれて用いた重ね合せ貼付方式としてもよい。

【0011】

【発明の効果】本発明は、物品パック袋を縦方向または30°及び横方向に多数並なりをすらせて或いは離して配列す

4

* 貼着する台紙であって、該台紙に縦方向または/及び横方向に隙間をあけて形成した貼付穴が中央部に隙片を介して対向する一対の穴により構成され、この中央部の隙片で分離された両貼付穴に貼着テープの粘着表面をそれぞれ配置したことにより、封筒シール形或いは中央台掌シール形の包装袋を用いた物品パック袋、その他包装物品を貼付台紙で横列展示表示の際に、強力粘着によってもシール部分またはその周辺が破れることなく安全に取り外しができ包装物品の脱落もなく取扱い簡便で、しかも物品パック袋の保管並びに輸送にも便利であり、カレンダー台紙として簡単に製造でき大量生産に適し実用的な形態とすることがができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例の一使用状態の斜視図である。

【図2】図1の側の台紙を示し、(a)は正面図。

〔b〕はB-B線における横断面図、(c)はC-C線における横断面図である。

【図3】図2のA-A線における拡大横断面図である。

【図4】図2の側の使用状態の一部の正面図である。

【図5】本発明の他の実施例の使用状態の一部の正面図である。

【符号の説明】

A 包装物品

1 台紙

2 貼付穴

3 貼着テープ

4 疋着面

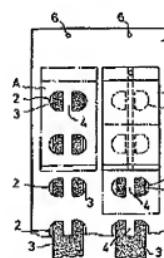
5 吊り下げ壁

6 通し穴

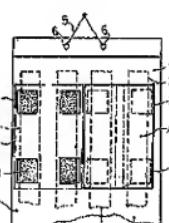
[図3]



[図4]



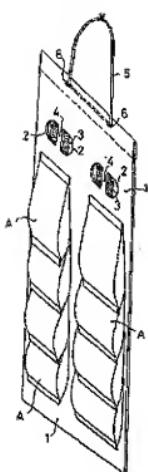
[図5]



(4)

特許平10-80345

[図1]



[図2]

